



解答・解説

サンゴしょうの^{うみ}海

もんだい①

キイロサンゴハゼは、てきからみをまもるために
どなくふうをするでしょう？

こたえ ㊦サンゴのすきまにかくれる。

キイロサンゴハゼは、サンゴのすき間に隠れることで、敵から身を守ります。
アクアマリンふくしまのキイロサンゴハゼが隠れる様子は見られるでしょうか？
あの水槽にはキイロサンゴハゼを襲うような敵は、いるのでしょうか？



キイロサンゴハゼ

もんだい②

キンメドキは、てきからみをまもるために
どなくふうをするでしょう？

こたえ ㊧なかまといっしょにおよいで^{おお}大きく^み見せる。

魚は自分よりも大きな生き物は襲わないため、なかまと一緒に泳いで大きな生き物のふりをする
ことで、てきから身を守っています。
また、一緒に泳ぐ理由としては、「敵をすぐ見つけれられる」「標的になりにくい」などもあります。
キンメドキが仲間と一緒に群れで泳ぐように、大水槽のイワシたちも、仲間と一緒に群れで泳
いでいます。ぜひ見てみてください。



キンメドキ

もんだい③

チンアナゴは、てきからみをまもるために
どなくふうをするでしょう？

こたえ ㊨すなにもぐる。

チンアナゴは、危険を感じると頭の先まで砂の中にかくれます。
体の長さは40cmほどもあるんですよ。
どのチンアナゴも同じ方向を向いていることが多いですが、
これは、エサが流れてくる方を向いているためと言われています。



チンアナゴ

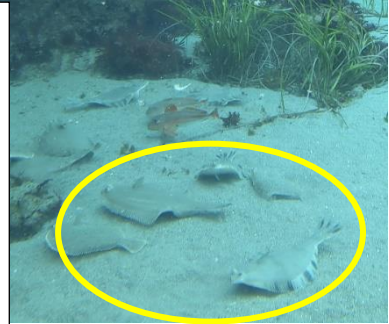
しおめの海

もんだい④

カレイやヒラメは、みをまもるために
どことなくふうをするでしょう？

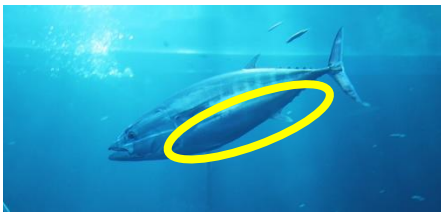
こたえ ㊦からだか、すなと同じ色をしている。
㊧すなの中にかくれる。

カレイやヒラメはひらべったい体をしています。
そして体の表面が茶色っぽいので砂にかくれることができます。
砂にかくれたまま海の中のようすを見るために、目が2つとも上についています。
キョロキョロ動く2つの目を、ぜひさがしてみてください。



もんだい⑤

カツオのおなかは何色でしょう？



カツオ

こたえ ㊩白（しろ）

カツオは背中が濃い青で、おなかは白っぽい色をしています。
鳥などの敵がカツオを上空から見ると、背中の色と海の色が同化して、見えにくくなります。

では、カツオを海の底から見上げるとどうでしょうか？

上には太陽の光がそそぎますよね。

ふりそそぐ太陽の光とおなかの白い色が同化して、
やっぱり敵から見えにくくなるという

わけです。

カツオのようにおなか白っぽいお魚、他にもいそうですね。

もんだい⑥

イワシの、みをまもるための
くふうはなんでしょう？

こたえ ㊨なかまといっしょにおよいで大きく見せる。
㊩体が、てきにみつかりにくい色をしている。

群れになって泳いでいるイワシたちを遠くから見たら、なんだか大きな生き物に見えます。

大きな生き物に向かっていこうとは、なかなか思わないですね。

イワシは群れで泳ぐことで、身を守っているのです。

もんだい②で出てきたキンメドモドキも、イワシのように群れになって泳いでいましたね。

ちなみにイワシも、せなかとおなかの色が違います。カツオと同じ理由なのですが、
分かるでしょうか？



マイワシ